

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスLiebe二子山			公表日		令和8年 3月 13日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6		遊びに合わせて空間を区切って、放課後等デイサービス対象児童が十分に遊べる環境づくりに努めています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6		人員基準を満たして、利用人数や活動内容に応じて調整を行っています。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	1	どこに何があるか一目で分かるようにする、タイムスケジュールを示すなど、視覚的手掛かりを提示して情報伝達を行っています。	完全なるバリアフリーではないが、今後必要に応じてスロープや手すり、段差を埋めるよう検討いたします。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		毎日のロッカーや椅子の消毒、定期的な玩具洗浄で、清潔な空間を保っています。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		パーティションや相談室など、クールダウンのために落ち着ける場所に移動することを、職員の見守りのもと、認めています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		6		月に1度行われる店舗内会議や、毎日の朝礼にて、業務改善について話し合い、改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		年に1回の保護者アンケートを実施し、頂いた意見を支援や環境設定に活かしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		朝礼や店舗内会議を通して、定期的に職員間で意見交換をし、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	5		必要に応じて評価機関にて外部評価を行い、業務改善に繋げていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		外部研修とeラーニングを用いて、研修を行っております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		支援プログラムを作成、公表を行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		6		適切なアセスメントを行い、支援計画に取り入れながら、作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		担当者会議や店舗内会議の中で共有を行いながら、職員全員で共通理解できるよう努めています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		職員間で共有し、統一した支援を目指しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		検査結果などは適宜共有をさせていただき、アセスメントに取り入れている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6		ご家族様からアセスメントした内容を支援計画に反映させ、目標を設定しております。また、必要に応じて内容の見直しも行ってまいります。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6		活動をジャンル分けし、それぞれに活動担当者を設定して、活動プログラムの立案を行っています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		お子様の意見も取り入れながら、プログラムを固定化させないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動と集団活動を、それぞれの児童に合わせて計画・支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝の朝礼内で、一日の流れ、活動の流れ、役割分担を決めて、話しあっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援上の気づきや振り返りを、LINEWORKSを活用して共有しています。	重要事項は当日中に振り返りと共有を行うことが出来ているが、確実に引継ぎが出来る時間を設けていけるようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		HUG及びLINEWORKSにて、日々の支援に関して記録を残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		全スタッフで定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		必要に応じて、そのお子様の状況をよく把握した職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保育、学校とは協力して支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	円滑な就学以降の為に、情報共有を総合理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		今後機会を設けられるように努めて参ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現在は無いが、今後必要に応じて増やしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		HUGでの連絡帳や、日々の送迎時にデイでの様子をお伝えし、LINEでも情報共有を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	外部研修に参加し、内容を職員に共有しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約の際に契約書に沿って丁寧な説明を心がけています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者様の意見と現在の子どもの状況とすり合わせが必要な場合、面談などの機会を設けています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画の内容を保護者様に説明し、同意を得た上で支援を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時の相談に限らず、ご希望に応じてLINEや電話、面談の機会を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		家族参観の機会を年に4回ほど設けて、その中で保護者様同時の交流の場を作っています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HUGやLINEを通してイベントや行事のご案内をしている。また、SNSやHP場でもお知らせなどを発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		インターネット上での発信については、必ず肖像権の同意を得て、細心の注意を払っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		絵カードや文章など、ご本人のニーズに合わせた意思疎通が行えるようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			夏祭りなど、地域住民にも開かれた行事を開催できるよう、努力していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		防災マニュアルの周知だけでなく、親子参加活動に避難訓練を取り入れて、発生を想定した訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPの策定と共に、必要に応じて社内研修を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時には必ず保護者様に確認をしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示書がある場合、それに基づいた対応を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成した上で、支援を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に関して周知し、連携が取れるようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		月に一回以上事例を共有する機会を設け、再発防止に向けた方策について検討しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		社内研修にて、虐待防止及び対応できるよう努めています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		やむを得ない身体拘束については、子どもや保護者に対して事前に十分な説明をし、個別支援計画に記載しています。		